

声 Voice

朝日新聞 2018 年 (平成 30 年) 6 月 10 日 (日)

将来は先生みたいな先生に

大学生 逆瀬 真吾

(大阪府 19)

僕が小学校教員になりたいと思いはじめたのは、小学

6年の時に担任の先生と出

会ってからでした。先生に

勉強の楽しさや教え方、メ

リハリをつけることの大切

さなどを教わり、僕も将

来、子どもたちに教えたい

と思いました。

しかし中学に入るとそん

なことは忘れて、勉強は塾

でしているからと、授業を

受けずに友達と遊んだりと

少しずつ道がずれていきま

した。高校に入っても、授

業には出るものやる気が

なく、学校を辞めようかと

悩んでいた2年の春にバイ

クで事故を起こしてしま

いました。ああ終わったと思

いました。

でも、自宅に小6の時の

先生がお見舞いに来て、こ

う言ってくれました。「将

来は一緒の職場で働くぞ」。

僕が「将来は先生みたいに

なる」と書いたのを覚えて

くれていたのです。

今までのことを後悔し、

必死に勉強をして大学に合

格し、今は教員になるため

に日々頑張っています。本

当に担任の先生には感謝の

気持ちしかありません。

承諾番号「18-2904」

*朝日新聞社に無断で転載することを禁じる